

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年2月27日（火）
 NO. 837号 本号3頁

圧力一辺倒改め、米朝の対話促すべき！北朝鮮問題

「米国と対話する用意が十分にある」と表明

25日、北朝鮮がピョンチャン五輪閉会式に合わせて派遣した金英哲キムヨン Chol・朝鮮労働党副委員長（統一戦線部長）ら高官級代表団が韓国入りしました。

閉会式を前に25日夕、平昌で韓国の文在寅ムンジェイン大統領と1時間会談し、「米国と対話する用意が十分にある」と表明したと、韓国大統領府が明らかにしました。この発言は、文氏が「南北関係改善と朝鮮半島問題の本質的な解決のためにも、米朝対話が速やかに開かれなければならない」と述べたことに対してなされました。

対韓国政策を統括する金英哲氏が率いる北朝鮮代表団の随員には、対米関係を担当する外務省北米局のチェ・ガンイル副局長が含まれ、27日までの韓国滞在中に米国との接触に備えているとの見方もあります。米政府代表団トップとして閉会式に出席し、26日朝まで滞在予定のトランプ米大統領の長女、イバンカ大統領補佐官には、訪朝経験のある米国家安全保障会議（NSC）のアリソン・フッカー朝鮮部長が同行しています。

韓国政府関係者によると、閉会式の貴賓席でイバンカ氏と金英哲氏はあいさつを交わしませんでした。米ホワイトハウス高官は25日、米政府代表団と北朝鮮側との間で接触はなかったと明らかにしました。



さて、27日までに米朝の接触はあるのでしょうか。

早稲田大学の李鍾元教授は16日の日本記者クラブでの会見で、北朝鮮をめぐる情勢が「次の大きな局面転換にいくのでは」と指摘しています。北朝鮮内には弾道ミサイル開発継続派と外交派との対立が見られるものの、軍事・経済を同時に進める「並進路線」のロジック（論理）からすると、昨年11月末の「核武力」の完成宣言の次は「経済に専念する」とし、「そのためには対外関係を改善しないといけない」との見方を示しました。

米国の対応にも変化の兆しが出ています。ペンス米副大統領が北朝鮮の独裁体制を非難する一方、11日付けの米紙ワシントン・ポストのインタビューで、前提条件なしでの米朝対話を示唆すると、13日には国務省のナウアート報道官は記者会見で「予備的な協議」に言及しました。ペンス氏が与正氏と10日に会談する予定だったことも報じられました。

しかし、日本政府は現時点で「圧力一辺倒」の姿勢を変えていません。同時に、河野太郎外相は17日、『「接触」を否定するものではない』として、米朝の「予備的協議」に理解を示しました。

これについて外務省筋も「われわれの考えを直接伝えていくことは必要だという立場で日米は一致している」と強調しました。しかし、「働きかける行為自体は否定するものではない」と述べ、「対話のための対話は意味がない」という態度表明から“軌道修正”を図ろうとしている様子が見られます。

東京大学の和田春樹名誉教授は、北朝鮮の韓国への接近を日米韓の連携を分断するものだとする見方について「世間では『韓国は北朝鮮にだまされている』という見方があるが、そうではない。お互いに必死に戦争を避けようとしている」と強調。「五輪を契機に米朝間で対話するよう促す国際的な流れがあったと見るのが自然だ。日本政府もこの方向に努力すべきだ」と述べました。

維新の会 「自民改憲案に同意せず」、教育無償化要求

前号で自民党憲法改正推進本部の全体会合で、改憲 4 項目の一つである「教育費無償化」の件で、改憲案として公言していた「無償」を憲法に明記しないことが合意されたと紹介しました。その件で、日本維新の会の馬場伸幸幹事長は 22 日の記者会見で、自民党が教育充実に関する憲法改正条文案に教育無償化を明記しなかったことについて「われわれが一番重視しているのは無償化だ。無償化の 3 文字がはっきりと入ってなければ同意できない」と述べ、修正を求めていく考えを示しました。維新の会は同日の役員会でこうした方針を確認しました。

馬場氏は、自民党案で国が教育環境の整備に努めなければならないとしている点には「国の柱の憲法に努力義務が入るのはそぐわない」と指摘しました。自民党側から複数の維新議員に対し、個人レベルで改憲案の協議を進めたいとの申し出があったとも明らかにしました。

前号で紹介しましたが、参院の合区問題の改憲案について野党が反対の声を上げましたが、教育費問題でも野党から「同意できない」等の声が上がっています。

各地のたたかい

宮崎 3000 万署名市民アクション・みやざきキックオフ集会 目標は 12 万人

安倍 9 条改憲に反対する 3000 万人署名を宮崎県内で広げようと、3000 万署名市民アクション・みやざきキックオフ集会が 23 日、宮崎市で開かれ、同実行委員会が発足しました。主催は、同実行委員会準備会です。

準備会の藤原宏志宮崎大学名誉教授は「今日集まった皆さんで実行委員会をつくって気合を入れ、署名を集めよう」と呼びかけました。

小川和憲宮崎大学名誉教授が「アベノミクスと経済の軍事化」と題して講演しました。

参加者からの活動報告で、宮崎市の東大宮 9 条の会の藤田元義さんは、毎週のコープ前での行動を紹介し、「常に署名を持ち歩いて、時間ができたら行動するという形でたくさん集めたい」と決意を述べました。

県労組会議の野地一行議長、日本共産党の前屋敷恵美県議、立憲民主党の渡辺創県議、民進党の本部仁俊延岡市議が出席。前屋敷県議は、「今日を皮切りに県民的な大闘争をつくり上げていけることをうれしく思う。草の根でやり遂げるために一緒に頑張ろう」と呼びかけました。

同実行委員会は署名目標を 12 万人と決めました。

福岡 女子高校生は、「平和が本当に好きで、安倍さんには反対」と署名

福岡県民運動実行委員会は 23 日夕、福岡市の博多駅前で安倍改憲反対の 3000 万人署名に取り組みました。20 人が参加し、次々と署名が寄せられました。

宣伝に足を止めた女子高校生（18）は、「平和が本当に好きで、安倍さんには反対。初めての選挙も『9 条を守り抜く』党に入れました」と話しました。自衛隊が大事だという会社員の女性（32）も「自衛隊はあくまで防衛だけでなければ。憲法を変えれば、戦前の軍国主義に戻るのでは」と話しました。

会社員の岡村武洋さん（62）は、「平和憲法には思い入れがあり、憲法を壊して海外派兵を拡大しようとしているのは許せない。署名くらいしかできないが頑張りたい」と激励しました。

終戦時に小学 6 年生だった清次正年さんは（85）は『神風が吹いて日本が勝つ』と教えられた。指導者がのぼせて国民をだまし戦争をした時代だ。安倍政権でまたその方向に向かっている。署名に多くの賛同者を集めてほしい」と語りました。

千葉 3000 万人署名の成功等をめざし、革新懇緑区の会発足！

千葉市緑区で、革新懇「国民が主人公の政治」をめざす緑区の会が 18 日、発足し、45 人が参加しました。

発足会では、当面の課題として、▽市民と野党の共闘を発展させ安倍暴走政治のストップ、▽安倍9条改憲NO！3000万人署名の成功、▽革新懇の「3つ共同目標（生活向上・民主主義・平和）」を国民多数の合意にしていく一などのとりくみを確認しました。

政治学者で明治学院大学国際平和研究所研究員の木下ちがや氏が「地域が作る野党共闘一草の根からの対抗運動の可能性と題して講演。各政党の地域的つながりのあり方や、野党共闘をめぐる社会運動の特徴などを述べ、「社会・政治運動の拠点的機能の役割を果たしていく。この革新懇ができたことは画期的意義がある」と強調しました。

発足会には、千葉県革新懇代表世話人の小林洋二氏があいさつし、同じく世話人の三輪定宜千葉大学名誉教授と立憲民主党の岡島一正衆院議員が激励のメッセージを寄せました。

同市民懇の代表世話人には、川本幸立（千葉県革新懇代表世話人）、かばさわ洋平（日本共産党千葉市議）、長谷川守攻（菅田9条の会）の各氏を選出しました。

兵庫 1月中旬から運動は大きく広がり、2月25日現在10万7千筆に！

「安倍9条改憲NO！」3千万・兵庫140万署名・・・10万筆突破・・・引き続き前進させよう！安倍改憲NO！3千万署名・兵庫140万へ向け1月中旬から団体ごと地域ごとの運動は大きく広がり、2月25日現在10万7千筆となりました。

【団体】：新婦人県本部は県下全支部の取組みで1万2千筆、兵庫民医連は各地法人の集計で2万9千筆、共産党兵庫県集計では県下全行政区の取組みで4万筆突破、兵庫労連は傘下労組の集計で6千筆などです。共産党の地域各支部の行動は各地で「おはようニュース」等で紹介され創意や智恵が普及されています。

【全行政区】：尼崎共同行動をさらに大きくした市民アクション尼崎は、全「9条の会」や連合系労組そして市民サークルも加わり2万4千筆で目標の20%に到達、神戸市垂水区では区内の全団体支部と「9条の会」と野党系の皆さんも結集し6千5百筆で18%に到達しました。各地の3千万署名運動の取組みを紹介します。



☆西区憲法共同センター450戸の団地訪問

事前に、安倍9条改憲NOのビラを配布。10組20人で各戸訪問、署名のお願いに伺いました。署名を済ませて訪問を待っている方、いつ訪ねて来てもいいように、玄関に署名用紙をピンで留めて待っている方。ねる方が励まされます。あいにくの好天?!で留守も多く、署名は74筆でしたが元気を貰いました。

☆尼崎市立花の榎原さん561筆！！

今年89才となる榎原さんは、500筆目標を掲げ現在561筆となりました。長い間地域の町会長として活動され、その信頼関係から殆どの方々も気持ちよく応じて下さっています。昨年末365筆でしたが今年の元旦迎春登山し、500筆を1月中にやり遂げようと決意され実現しました。榎原さんは「1人の兄は南方で戦死、もう一人の兄は戦死の兄の仇をとると『人間魚雷に』に志願、憲法変えて戦争する国になると再びこのようなことが起きる」とうったえ共感を広げています。

(共産党尼崎3千万署名推進委員会ニュースより)

☆長田区の日吉地域の各戸訪問

日吉地域の共産党後援会では、日頃から「ごきんじょニュース」を定期発行し地域の問題もとりあげ、読んで楽しいと好評です。先頃の神戸市議補選のとき、3千万署名と返信封筒のセットで数多く届けました。現在17軒から53筆の署名が届いています。

☆JR加古川駅前の行動

2月19日、二市二町（加古川市・高砂市・播磨町・稲美町）総がかり行動実行委員会によるリレートークと署名にとりくみました。写真は、その時の様子です。⇒

